**浦安市弓道連盟　体育館再開対応ガイドライン　　　　　　　　　　　　　　　　　（2020年5月24日理事会）**

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、体育館再開以降の当面の対応について、以下のガイドラインを設ける。

これは完成形ではなく、利用状況や感染拡大の防止状況、浦安市・千葉県、千葉県連・全弓連の動向も踏まえつつ、不都合があれば随時改善していく。

**１．基本的な遵守事項**

（スポーツ庁「社会体育施設の再開時の感染防止策チェックリスト」より）

(1)以下の事項に該当する場合は、自主的に利用を見合わせること

・体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）

・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

(2)各自、マスクを持参すること

・スポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用

(3)こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること

(4)他の利用者、施設管理者スタッフ等との距離（できるだけ２ｍ以上）を確保すること

(5)利用中に大きな声で会話、応援等をしないこと

(6)感染防止のために施設管理者が決めた措置を遵守し、施設管理者の指示に従うこと

(7)利用終了後２週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、会長に報告すること

(8)施設利用前後のミーティング等においても、三つの密を避けること

**２．連盟行事について**

(1)射会・記録会、講習会等

大勢が集まる可能性のある行事については、体育館主催事業（火曜・金曜教室、支援の時間等）が再開されるまでは休止する。体育館主催事業再開後は、状況に応じて判断する。

　例：射会・記録会、体配・射技講習会、柴田先生講習会、強化練習

ただし、指導部が必要と判断した場合、人数・対象・時間限定などで講習を実施できる。

(2)25周年記念パーティ

今年7月ごろをめどに実施するか決定する。実施の場合、参加者が会員のみになっても（来賓が来なくても）問題ないとする。行わない場合は、延期、中止どちらでもよいとする（実行委員の判断に一任）。

**３．連盟専有時間について**

(1)「密集」を避ける方策として、特定の短時間に利用が集中しないよう、当面の近的場連盟専有時間を変更・拡大する。詳細は、ホームページ日程表を確認のこと

　6月末まで体育館主催行事は中止予定（4/27段階の市の通達）

(2)日曜日の集中緩和のため、毎週日曜、アーチェリー協会が専有する時間帯を避けて、遠的専用利用を2時間設けることとする。

**４．道場使用上のガイドライン（遠的も準じる）**

①密閉・密集・密接の「３密」の回避、②万一感染症が発症した場合の対応、を目的に、次のガイドラインを設ける。

(1)入場時

・入場の前に手洗いまたは手指消毒を行う。

・出席簿に、名前とともに入場時間を記入する。

(2)換気・飛沫防止

・近的場の入り口（引き戸）は常に開放する。

・行射時以外はマスクを着用する。

・会話（とくに対面での）は控えめに。

・扇風機を使用して換気に考慮する。

(3)利用者の間隔配慮

・人数や利用時間の制限は設けないが、場内では適度（１～２m）な間隔が保てるように配慮する。

・近的場の利用は最大で15人が上限とし、それを超えた場合はお互い譲り合いながら場外で待機する。

・設備は5人立ち、巻き藁2台のままとする。

(4)射込み・矢取り

・射込みは持的とし、各自自分の矢は自分で取る。

・矢取りの前後は手指を消毒、矢拭きは自前で用意、管理する。

(5)清掃・垜整備・的貼り

・前後に手洗いまたは手指消毒を行う

・連盟専有時間の最初と最後には、通常の清掃とともに、触れる機会のある共用物・場所を消毒する

　例：扉、スイッチ、清掃用具、草履、駒札、机、扇風機など

(6)指導・助言

・体に触れるのは避け、マスクを着用する。

・土日14～15時の坐射の時間は継続する。その際、師範台からの指導を行う。

(7)飲食

・場内での飲食は、飲み物以外は禁止。場外でも飲食物の共有は禁止とする。

(8)共用物の利用

・使用の前後に手洗いまたは手指消毒を行う。

・可能な範囲で自前のものを利用する。

・弓、矢は使用前後に消毒する。

例：弓、矢、筆粉、弦仕掛け道具、工具、弓拭き・矢拭きタオル、出席簿・ペン、iPadなど

以上